

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

2 事業計画

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

1. ケアプラザの担当する地区は、人口約 3 万人、高齢化率は約 29%となっています。高齢化率は年々上昇傾向にあり、振り込め詐欺による被害や認知症高齢者による徘徊などの諸問題も起きています。ケアプラザとしても 29 年度に引き続き、30 年度も地域と共に、見守りの仕組みづくりに取り組んで参ります。
2. 瀬谷第二地区、南瀬谷地区共に地域活動が活発に行われています。しかし、特定のメンバーが様々な役割を担っている側面もあり、新たな担い手の育成が課題となっています。30 年度は新たな対象へアプローチし、人材の発掘に努めます。
3. 南瀬谷地区では、独自に「南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会」を設けており、30 年度は新たな実施体制となります。ケアプラザも関わりながら後方支援を行って参ります。
4. 両地区ともにこどもの貧困や孤食の問題に力を入れ、「こども食堂」を展開しています。ケアプラザとして後方支援して参ります。

(1)相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1. 子ども・子育ての相談に関しては、自主事業の「親と子のフリー広場」などで育児の相談や悩みなどに対して気軽に相談できる体制や日頃の関係づくりに努めます。
2. 瀬谷第二地区「下瀬谷こども食堂」・南瀬谷地区「こども食堂ラッキー」にも積極的に関わり、利用者の相談への対応を行います。個別の相談に関しては、区役所等の専門機関へつなぎ迅速な対応をはかります。
3. 瀬谷第二地区「いきいき瀬谷っ子」事業において、にこてらすと一緒に“子育て相談コーナー”を設け、地域の中で気軽に相談できる環境づくりに努めます。
4. コミュニティカフェ「カフェ・アロハ」で、介護の悩みから子育て・障がいなど、さまざまな相談をお受けします。
5. 障がい児・者に関する相談は、中途障がい者の支援事業である「四ツ木会」での座談会などで情報交換に努めます。

(2)各事業の連携

1. 地域会合や地区支援チームの会議などの記録をそれぞれ地区毎に整理して、包括と地域交流、生活支援コーディネーターで共有します。
2. それぞれ把握した地域ニーズや課題については様々な会議で情報共有し、支援体制づくりや啓発事業につなげるなど、連携して課題解決に向けて取り組みます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 雇用促進による地域の活性化に寄与できるよう、職員採用については、地域採用を心がけていきます。
2. 当法人で運営している地域ケアプラザと連携を図りながら、定期的に勉強会を開催し、経験に応じた研修を計画・実施し専門職としてのスキルアップを図ります。内外部研修に積極的に参加し、部署毎の会議の機会を利用し、伝達研修等を行い、共有し合います。
3. 職員に対して、日頃の業務に対する課題や業務全般の意欲を確認するなど、継続したフォローアップに努めます。
4. 他部署の業務把握が行える職員会議を毎月開催し、連携したサービス提供を実施します。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. ケアプラザを利用されている地域の福祉保健団体と日常的に情報・意見交換を行い、それぞれの団体が地域の中で活躍できるよう協力します。
2. 子育て応援ネットや地域の子育て拠点・支援者とのネットワークを通じて、地域の方々が気軽に相談できる環境づくりを行います。また、区役所や関係機関とのネットワークの強化により、迅速・適切な対応に努めます。
3. 自立支援協議会とのネットワーク構築により、障がいのある人が地域の中で安心して暮らせるよう働きかけていきます。
4. 月1回のケア会議において、地域包括支援センター（以下、包括という）・地域活動交流（以下、地域交流という）、生活支援コーディネーター、エリア担当の区役所ケースワーカー・保健師、瀬谷区社会福祉協議会（以下、区社協という）と情報交換・共有を図ります。
5. 包括・地域交流、生活支援コーディネーターが連携して地域福祉保健計画・地区社会福祉協議会（以下、地区社協という）・民生委員児童委員協議会（以下、民児協という）の会議に出席し、地域関係者との定期的な情報交換に努めます。

(5) 区役所との協働

1. 地区別計画においては、各地区の計画の進捗状況を踏まえてケアプラザの視点から支援の方法を提案していきます。また、地域交流と生活支援コーディネーターが協力して地域会議やチーム会議に出席し、情報の提供やチームメンバーとの情報共有に努めます。
2. 第3期地域福祉保健計画の推進に向けて、地域の方が安心して暮らせるまちづくりや健康を意識して生活できるよう、事務局として関わり、支援します。
3. 福祉避難所としての機能を踏まえて、定期的に応急備蓄の確認や区役所との情報共有をします。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 高齢者支援事業として、既存の「うたごえ広場」とともに、地域の方々の孤立防止の為の新たな交流の場として「サロン de ミュージック」を開催します。
2. 子育て支援事業として、未就園児を対象とした「親と子のフリー広場」を中心に、小中学生の宿題対策と居場所づくりの為の夏休み企画・冬休み企画を開催します。
3. 横浜ひなたやま支援学校の生徒の活躍の場として、ケアプラザにてフードユニットによるパンの販売を行い、地域との交流に努めます。
4. 障がい児・者と地域との交流を深める為に、自立支援協議会と協力しながら障が

い者理解の事業を開催します。

5. 「秋のケアプラザ祭り」を開催し、地域との交流を深めるとともにケアプラザの周知をはかります。貸館利用団体や関係施設のご協力を頂くとともに活躍の場を提供します。

(2) 福祉保健活動団体が活動する場の提供

1. 「こども食堂」を中心に、食事だけではなく学習支援や居場所づくりの一環としてケアプラザを利用してもらえるよう働きかけます。
2. 夜間の利用率を上げる為に、様々な団体に情報提供を行い、利用促進をはかります。
3. 広報紙やチラシを通じて、貸館機能の周知をはかるとともに、空室情報を積極的に発信するなど利用率の向上に努めます。
4. 福祉保健活動団体や地域で活動されている団体に、デイサービスやケアプラザ祭り等への参加協力を依頼し、活躍の場を提供していきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. 「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修会を開催し、シニアボランティアの裾野の拡大と活躍の場の提供に努めます。
2. ケアプラザで活動されているボランティアとの意見・情報交換を行い、新たな活動の幅を広げ、ボランティア間の交流に努めます。
3. ボランティア希望者へ館内の掲示板等で活動団体のメンバー募集やボランティア募集の情報提供を行い、受け入れ先とのコーディネートをはかっていきます。
4. 若い世代のボランティア育成を目指し、福祉教育や職業体験等、近隣の学校との連携をはかるとともに、ケアプラ祭りやデイサービスなどで活躍できる場を提供します。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 地区社協・連合町内会・民児協・地域サロン等の会合や活動に積極的に参加し、情報の収集と課題把握に努めるとともに、福祉保健活動に関する情報提供を行っていきます。また、地域で得た情報や課題を他の機関・団体に伝え、地域全体で情報共有できるように努めます。
2. 地域及び区役所等、関係機関から得た情報を職員会議や朝礼の場で情報共有します。
3. 貸館団体や来館者に対して、各種チラシやパネル等を通して、福祉保健活動に資する情報提供を行います。
4. 四半期に一度の広報紙「下瀬谷ケアプラザだより」の発行とホームページの活用等により、地域の方々にさまざまな情報提供を行います。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 29年度に引き続き、30年度もコミュニティカフェ「カフェ・アロハ」を隔月1回定期開催します。こどもから高齢者まで、幅広い地域住民の集いの場となるよう工夫し、包括や地域交流とも連携して取り組みます。
2. 生活支援体制整備事業や地域包括ケアシステム等について、地域の方々への周知活動に取り組みます。
3. 生活支援コーディネーターとしての取組や、地域活動等、積極的に地域の情報を発信します。
4. 地域の方々と共に、地域の歴史や地理、資源など地域特性の把握に取り組みます。
5. 新たな担い手確保のための事業を実施します。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地域のサロンや会議、行事等には積極的に参加し、地域のニーズや課題の把握に努めます。
2. 29年度に実施した、地域包括ケアシステムに関するアンケート結果を分析し、地域の高齢者の生活課題の把握に努めます。
3. 地域活動やインフォオーマルサービス等の地域情報を整理し、情報共有に努めます。

(3) 連携・協議の場

1. 地域の会議等、連携・協議の場へは積極的に参加し、地域との関係づくりに努めながら、目指す地域像を地域の方々と共有します。
2. 地域の協議の場へ積極的に参加し、地域の介護予防・生活支援・社会参加にかかわる住民主体の活動やサービスの創出・継続・発展に向けた働きかけを行います。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 毎月1回開催される生活支援コーディネーター連絡会で、区役所・区社協・他のケアプラザの2層コーディネーターと情報を共有し、広域の地域課題の把握に努めます。
2. 広域の地域課題の解決に向けて、区役所や区社協、他のケアプラザの2層コーディネーターとともに取り組みます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

1. 毎月1回ケア会議で、地域交流・区役所の地区担当保健師・ケースワーカー、区社協と地域の課題について話し合い、連携します。
2. 担当地域の各地区で毎月開催されている民児協の定例会に参加し、地域の高齢者の支援が円滑に行われるために必要な情報交換、サービスの検討をします。
3. 地域の関連団体や関係機関とのネットワーク構築のため、地区支援チーム会議等に出席している職員とも連携を図り、職場内において情報共有のうえ地域の会議等にも積極的に参加します。

②実態把握

1. 区内全域と担当エリアの人口・世帯、年齢構成・家族構成、特徴について把握します。
2. 29年度行った「見守りアンケート」を基に、地域の特性に合った支援や事業を展開していきます。
3. 地域サロン等へ出向き高齢者が抱える悩み等の把握に努め、更には相談しやすい関係性を築きます。

③総合相談支援

1. 高齢者に関する様々な相談を受け止め、相談内容を的確に把握します。
2. 相談内容に応じて関係機関と連携を図り、協力して必要な情報提供をし、安心した生活に繋がるよう支援します。
3. ケアマネジャー等に繋がらないケースの場合、必要に応じて民生委員等と協力し、継続的にフォローします。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 権利擁護事業として、成年後見制度に関する講座やエンディングノート書き方講座を開催します。
2. 成年後見制度や消費者被害に関する相談があった際は、適切なアドバイスをして、必要な関係機関へ連絡・調整を行います。

②高齢者虐待への対応

1. 年3回どなたでも参加できる「介護者のつどい」オープン講座を開催し、介護・医療に関するアドバイスを学べる機会とします。
2. 虐待ケースの早期発見に努め、関係機関と情報を共有し緊急性などを見極めながら迅速な対応を図ります。

③認知症

1. エリア内の認知症キャラバンメイトと連携を図り、定例会を実施し、認知症サポーター養成講座開催支援や認知症の方と家族が安心して暮らせるネットワークづくりを行います。
2. 認知症に関する相談があった際、医療機関の案内や対応の仕方など、適切な支援を行います。
3. 認知症の方を見守っている各連合向けに「みんなで学ぶ認知症」を開催し、認知症の理解と見守り強化の機会とします。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域のサロンやシニアクラブ等の要望に応じて「介護保険」「介護予防」「権利擁護」等出前講座を行います。すぐに施設入所しなくても在宅介護サービスを活用して在宅生活が継続できるように、介護予防の意識を高めて生活をする習慣をつけられるように啓発して参ります。
2. 民児協の定例会に出席し、地域住民に有益な情報を提供します。地域課題を共有して情報や意見交換をして、より連携の取りやすい関係づくりを図ります。
3. 民生委員とケアマネジャー及び関係機関が連携・情報交換ができる機会の提供をしていきます。

②医療・介護の連携推進支援

1. 毎月「施設協力医とケアマネジャーの勉強会」を開催し医療と介護の情報や意見交換を通して理解を深め、より円滑な連携やスキルアップがはかれるようにします。
2. 新任ケアマネジャーを対象に「利用者の主治医への連絡票」「瀬谷区医療情報」（医師との連絡方法のタイミング等記載）をケアマネジャーが有効に活用できるように研修を開催します。
3. 瀬谷区認知症医療連携検討会に参加し認知症の高齢者が速やかに適切な治療やサービス利用ができるように検討を重ねます。
4. 在宅サポートネットワークに参加し近隣の医療機関や医師会、その他介護従事者間で情報共有や意見交換を通じて円滑な地域の包括ケアを図ります。
5. 在宅医療連携相談室・瀬谷区ケアマネットと共催で医師会と介護従事者と意見交換のできる交流会を開催します。
6. 地域内の医療機関を数か所訪問し、医師から通院患者の状況や課題と感じていることなどをヒアリングし、今後の活動に活かします。

③ケアマネジャー支援

1. 毎月「施設協力医とケアマネジャーの勉強会」を開催し事例検討や医師からの医療知識のレクチャー等を通してケアマネジャーのスキルアップをはかります。
2. 区内の他の包括、ケアマネットと協力しケアマネジャー向けの研修を企画・開催します。
3. 毎月区内の包括主任ケアマネジャーが協力し、ケアマネジャーにとって有益な研修や区役所・包括で開催する企画を「ケアマネカレンダー」にして配布します。
4. 区内包括職員と協力し、介護予防サービスや介護予防ケアマネジメントがより適切に行われるように介護予防従事者研修を開催します。
5. 地域で活動する居宅介護支援事業所が開催する事例検討会に協力し、地域内の居宅介護支援事業所同士が連携し資質向上をはかれるように支援します。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. エリア内の地域密着型サービスの運営推進会議等に参加し地域住民も交えて地域におけるサービスの妥当性や資質向上を図れるように、現状の把握や検討を行います。
2. 地域ケア会議を開催し、個別課題から見えてくる地域課題を抽出し、多職種からの意見を取り入れ地域住民と共にどのような協力体制が必要か、話し合いを重ねていきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 要支援者に介護予防の必要性を理解してもらい、介護予防の継続的な取り組みをしてもらえるよう意欲の維持・向上を支援していきます。
2. 委託先のケアマネジャーに介護予防給付だけでなく、地域資源（介護予防教室・インフォーマルサービス等）を情報提供することで、ケアマネジメントの充実を図るための連携・支援をしていきます。
3. 支援が難しいケースに関しては、包括・エリア担当の保健師・ケースワーカー・区社協等と情報交換しながら支援強化に努めます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 引き続き各地域で介護予防教室を実施し、普及啓発を行います。また、各教室を連続講座にする事で、継続的なフォロー・見守り・評価を行い、内容の充実をはかります。
2. 既存の元気づくりステーションが、継続的に自主活動が行えるよう支援していきます。また、地域との交流をはかる事で、地域に根ざしたグループ活動になるよう支援します。
3. 地域介護予防活動支援について、地域で介護予防の拠点となっている地域サロンに対して、内容が介護予防的要素（体操・脳トレ等）を取り入れられるよう継続支援を行います。
4. 介護予防的要素を地域で普及啓発していくための担い手不足・高齢化が課題となっています。新規の人材育成事業を他のケアプラザ・区社協等と共働し、担い手を発掘して参ります。
5. ボランティアを育成し、自主グループ活動に繋がるように支援していきます。
6. 既存のサロンやシニアクラブの交流会を開催し、情報交換・共有にとどまらずそこから出てきた課題を整理し、今後の方向性が見いだせるように支援します。

その他

1. 30年度も「秋のケアプラザ祭り」を開催し、イベント・模擬店・物販・展示等、を通じて、地域の方々にケアプラザの周知と多世代交流をはかれる機会とします。
2. 地域で立ち上がった住民主体の介護予防・生活支援サービスに対して安定した活動が行えるよう継続的に支援していきます。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

施設を利用するすべての方が安全・快適に利用できるように、指定管理施設であることを自覚し、「地域ケアプラザの管理運営に関する基本協定書」に定める基準に基づき、保守管理や環境維持業務を定期的に行い、施設及び設備の適正な維持管理を行います。保守や維持管理については、専門業者による定期点検や職員による日常点検を行います。

1. 委託業務による設備・建物当の定期点検・維持管理
 - (1) 定期清掃、定期設備点検（レジオネラ症防止対策・害虫駆除）
 - (2) 電気設備保守点検
 - (3) ガス設備定期点検
 - (4) 消防設備点検
 - (5) セキュリティ会社による夜間設備保守
2. 職員による日常点検
 - (1) 「閉館前点検チェック表」による防犯・防災の設備点検
 - (2) 修繕箇所などが発生した際は速やかに区と協議し、必要な対策を講じます。
 - (3) 館内清掃チェック表を用いて定期点検・清掃に取り組みます。

イ 効率的な運営への取組について

1. ケアプラザは地域の福祉保健に関する拠点であり、効果的にその役割が果たせるように、5つの部署（地域交流、包括、生活支援体制整備事業、居宅介護支援事業所、通所介護事業所）が連携を密にして情報を共有して事業等を実施します。また、毎月部署ごとでの会議を開催するとともに職員会議を開催し、ケアプラザ内全体での情報伝達の徹底や課題の共有と連携を図ります。
2. 自治会町内会、地域団体と連携して効果的な事業の展開を図り、ケアプラザ内での事業展開だけではなく、近隣の場所等をお借りしての事業開催を行います。

ウ 苦情受付体制について

1. 当地域ケアプラザの運営法人である社会福祉法人同塵会が定める「苦情対応マニュアル」に基づき、利用者の権利を擁護し、迅速に改善を図ることを念頭に取り組みます。
2. 事業所の受付に「苦情相談窓口」案内を掲示して施設利用者に周知します。
3. 苦情相談は受付者を各事業の職員から選出し、迅速な対応ができるようにしています。介護保険の契約時に提示する重要事項説明書、個人情報使用同意書の説明時に苦情相談の受付体制を説明し、施設利用者に対しては、利用者アンケートにご意見、苦情などが書き込める項目を設けて、利用者の声が捉えられるように引き続き務め、実施します。
また、利用者・来館者に気軽に意見等を述べてもらえるよう、「ご意見箱」を継続して設置します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 災害や事故発生時には「事故・防災対応マニュアル」に基づき、迅速な対応ができるように日頃からの訓練を心がけます。
2. 防災訓練は、瀬谷消防所の協力を得て、消防計画に基づいて年2回、総合的に実施します。また、職員を対象にAED訓練や「福祉避難所設置訓練」を行い、緊急時に対応ができるように意識付けます。
3. 防犯については、日常的に職員が「閉館時点検チェック表」に基づき見回り、パソコンや個人情報書類が入っている書庫への施錠を行い、職員退出後はセキュリティ会社による保守管理を行います。また、非常口付近に設置した人感センサーライトで、引き続き防犯強化に努めます。

オ 事故防止への取組について

1. 事故を未然に防ぐために、「ヒヤリハット」事例の集計結果を基にした話し合いを継続して実施します。また、「安全管理マニュアル」を職員の目の届くところに常備し、再確認します。
2. 感染症対策については、研修等（インフルエンザ・ノロウイルス対策）を企画・実施し、発症・感染予防、蔓延防止に努めます。
3. 個人情報漏えいの事故防止については、日常的な点検、ダブルチェックの徹底を図り、さらに、外部講師を招いた個人情報保護についての研修を行うことで意識の向上に努めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

1. 指定管理施設として「横浜市個人情報保護に関する条例」及び下瀬谷地域ケアプラザの「個人情報保護マニュアル」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報保護に努めます。施設入口には施設利用者向けに「個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）」を掲示し、職員に対しては「個人情報の保護に関する誓約書」の提出を義務付けます。さらに、外部講師を招いた個人情報保護についての研修を行うことで意識の向上に努めます。
2. 郵便物、FAXなど外部との通信にはダブルチェックをし、適切な情報の取り扱いに継続して努めます。

キ 情報公開への取組について

1. 広報誌「下瀬谷ケアプラザだより」を四半期ごとに発行し、自治会町内会の回覧版・掲示板の活用やホームページからの閲覧等、事業活動の周知を図ります。また、広報誌による情報の発信が効果的にできるよう、引き続き紙面の工夫をしていきます。
2. 介護情報の情報公表は適時行い、第三者評価、ケアプラザ事業報告及び計画などを窓口で備え、引き続きいつでも閲覧できるようにします。
3. 利用者にわかりやすい説明を心がけて、活動紹介パネルなども活用します。
4. 個人情報の開示請求に関しては、「指定管理者の情報の公開に関する標準規定」及び「横浜市下瀬谷地域ケアプラザ保有個人データの開示等の請求に関する規定」に準じて適切に対応します。

ク 人権啓発への取組について

1. 「子ども、障がい児・者、高齢者」の人権擁護に関する研修（内外部）に参加し、人権侵害等未然に防げるよう努めて参ります。
2. 人権擁護に関するパンフレット・リーフレット等の館内の配架やポスターの掲示をし、啓発活動に取り組みます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

1. 横浜市で提唱する「3R 夢プラン」に準じて、ゴミの減量・発生抑制、再使用・再利用に継続して取り組みます。また、災害時用に雨水タンクの活用や夏季にはゴーヤカーテンの実施も予定しています。
2. 引き続き、不要不急の電力消費を見直し、節電に努めます。冷暖房の適正温度実行の励行に努め、裏紙の活用等も実施します。
3. 月に1回施設周辺の美化清掃を実施し、地域の環境整備に取り組みます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師（看護師） 1名
社会福祉士 2名
主任ケアマネジャー 1名

介護予防事業

予防プラン作成者 地域包括支援センター3職種：4名
介護予防支援プランナー：1名

《目標》

包括3職種と介護予防支援事業のプランナーが協力して、エリア内の要支援認定者の介護予防ケアマネジメントを実施します。

《その他》

要支援認定者及び事業対象者からのご相談があった際には状況把握に努め、事業所内で情報を共有し、担当者を決めて責任を持って対応します。また、担当者不在時にも必要なサービス調整などがあれば早急に対応します。

介護保険サービスの利用を目標とするのではなく、要支援者の自立支援を目指した視点でケアマネジメントを行い、アセスメント・ケアプラン作成をします。

また、関係機関との連携及び適正なサービスが利用できるよう情報収集に努めます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
283	283	283	283	283	283
10月	11月	12月	1月	2月	3月
283	283	283	283	283	283

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員

常勤兼務	2名	(所長・管理者)
常勤	3名	
非常勤	1名	
合計	6名	

《目標》

- ・ご利用者の意思を尊重し、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活が過ごせるように支援いたします。
- ・介護保険サービスのみに偏ることなく、地域のインフォーマルサービスも取り入れてケアプランを作成します。
- ・毎週会議でご利用者の情報を共有し、担当者が不在でも対応できるようにします。
- ・介護保険の改正で、ご利用者が混乱しないよう対応します。

《実費負担》

- 通常のサービス地域を超える場合の訪問や出張にかかる交通費等の支払い。

《その他》

- ・ケアプラザ内に設置されている地域包括支援センターと密に連携できる体制を確保し、支援困難ケースにも対応しています。
- ・主任介護支援専門員の配置や24時間の連絡体制を確保しています。
- ・他法人の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会を開催し、資質向上をはかります。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
163	163	163	163	163	163
10月	11月	12月	1月	2月	3月
163	163	163	163	163	163

● 通所介護・認知症対応型通所介護

◀提供するサービス内容▶

サービス計画の作成、相談・援助等、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴

◀実費負担▶ 通所介護

● 1割負担分

（要介護1）	614円
（要介護2）	725円
（要介護3）	837円
（要介護4）	948円
（要介護5）	1060円
入浴	54円

サービス提供体制強化加算Ⅰ（ロ） 13円

● 2割負担分

（要介護1）	1227円
（要介護2）	1450円
（要介護3）	1673円
（要介護4）	1896円
（要介護5）	2119円
入浴	108円

サービス提供体制強化加算Ⅰ（ロ） 26円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ

（介護報酬総単位数×4.0%）×10.72（円）

● 利用料金口座振替手数料 108円

認知症対応型通所介護

● 1割負担分

（要介護1）	1072円
（要介護2）	1188円
（要介護3）	1305円
（要介護4）	1422円
（要介護5）	1539円
入浴	55円

サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円

● 2割負担分

（要介護1）	2144円
（要介護2）	2376円
（要介護3）	2610円
（要介護4）	2844円
（要介護5）	3078円
入浴	110円

サービス提供体制強化加算Ⅱ 14円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ

（介護報酬総単位数×4.0%）×10.88（円）

● 利用料金口座振替手数料 108円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 通所介護 10:00～15:30
認知症対応型通所介護 9:15～16:15

《職員体制》

通所介護

管理者 1名 (常勤兼務)
相談員 3名 (常勤兼務2名、非常勤兼務1名)
看護職員 7名 (非常勤兼務)
機能訓練指導員 7名 (非常勤兼務)
介護職員 14名 (常勤兼務11名、非常勤兼務3名)
調理員 6名 (非常勤)
運転手 5名 (非常勤)
清掃員 1名 (非常勤)

認知症対応型通所介護

管理者 1名 (常勤兼務)
相談員 3名 (常勤兼務2名、非常勤兼務1名)
看護職員 7名 (非常勤兼務)
機能訓練指導員 7名 (非常勤兼務)
介護職員 14名 (常勤兼務3名、非常勤兼務3名)
調理員 6名 (非常勤)
運転手 5名 (非常勤)
清掃員 1名 (非常勤)

《目標に対する成果等》

ご利用者様が、居宅において自立した日常生活が営むことができるようにきめ細やかに支援していきます。

ご家族の精神的・身体的負担が軽減できるように支援していきます。
日常生活における孤立感の解消ができるよう支援していきます。

《その他》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者様に合わせた機能訓練を提供します。季節感を感じていただけるプログラムを提供します。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1000	1030	1000	1040	1040	1000
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1050	1000	980	980	980	1050

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

サービス計画の作成、相談・援助等、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴

《実費負担》

● 1割負担分

(通所型独自サービスⅠ) 1766円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 52円

(通所型独自サービス／22) 1766円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 52円

(通所型独自サービス2) 3621円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 103円

● 2割負担分

(通所型独自サービスⅠ) 3531円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 103円

(通所型独自サービス／22) 3531円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 103円

(通所型独自サービス2) 7241円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 206円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ
(介護報酬総単位数×4.0%)×10.72 (円)

● 利用料金口座振替手数料 108円

《その他》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者様に合わせた機能訓練を提供します。季節感を感じていただけるプログラムを提供します。

《事業実施日数》 週 7 日 (ただし12月28日から1月3日は除く)

《提供時間》 10:00～15:30 (半角で入力 例9:00～15:00)

《職員体制》

管理者 1名(常勤)
相談員 3名(常勤兼務2名、非常勤兼務1名)
看護職員 7名(非常勤兼務)
機能訓練指導員 7名(非常勤兼務)
介護職員 14名(常勤兼務11名、非常勤兼務3名)
調理員 6名(非常勤)
運転手 5名(非常勤)
清掃員 1名(非常勤)

《目標に対する成果等》

《その他》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者様に合わせた機能訓練を提供します。季節感を感じていただけるプログラムを提供します。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
27	27	26	26	27	27
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	28	28	28	26	26

平成30年度 「下瀬谷地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,322,000	0	19,322,000		19,322,000	横浜市より(施設使用料相当額3,990,000計上しています)
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	230,000		230,000		230,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	22,000	0	22,000	0	22,000	
印刷代	22,000		22,000		22,000	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,990,000		3,990,000		3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,990,000	0	3,990,000	0	3,990,000	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	19,574,000	0	19,574,000	0	19,574,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,760,000	0	10,760,000	0	10,760,000	
本俸	7,634,000		7,634,000	0	7,634,000	
社会保険料	688,000		688,000	0	688,000	
手当計	2,178,000		2,178,000	0	2,178,000	
健康診断費	70,000		70,000	0	70,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	190,000		190,000	0	190,000	
その他			0	0	0	
事務費	1,385,200	0	1,385,200	0	1,385,200	
旅費	25,000		25,000	0	25,000	
消耗品費	350,000		350,000	0	350,000	
会議ठीい費			0	0	0	
印刷製本費	40,000		40,000	0	40,000	
通信費	358,200		358,200	0	358,200	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	0	50,000	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	460,000		460,000	0	460,000	
手数料	25,000		25,000	0	25,000	
地域協力費	30,000		30,000	0	30,000	
その他	45,000		45,000	0	45,000	
事業費	392,000	0	392,000	0	392,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	350,000		350,000	0	350,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	6,176,000	0	6,176,000	0	6,176,000	
建築物・建築設備点検			0	0	0	指定額
光熱水費	3,655,000	0	3,655,000	0	3,655,000	
電気料金	3,655,000		3,655,000		3,655,000	
ガス料金			0		0	自主事業収入230,000円、雑入22,000円相当分をここで調整しています
水道料金			0		0	
清掃費	227,000		227,000	0	227,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	266,000		266,000	0	266,000	
設備保全費	1,203,000	0	1,203,000	0	1,203,000	
空調衛生設備保守	579,000		579,000	0	579,000	
消防設備保守	39,000		39,000	0	39,000	
電気設備保守	26,000		26,000	0	26,000	
害虫駆除清掃保守	86,000		86,000	0	86,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	473,000		473,000	0	473,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	351,000		351,000	0	351,000	
公租公課	860,800	0	860,800	0	860,800	
事業所税			0		0	
消費税	860,800		860,800	0	860,800	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	19,574,000	0	19,574,000	0	19,574,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成30年度 「下瀬谷地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	29,056,000		29,056,000		29,056,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	22,000		22,000		22,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	35,018,000	0	35,018,000	0	35,018,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,470,000	0	30,470,000	0	30,470,000	
本俸	18,564,000		18,564,000		18,564,000	
社会保険料	3,420,000		3,420,000		3,420,000	
手当計	7,771,000		7,771,000		7,771,000	
健康診断費	70,000		70,000		70,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	645,000		645,000		645,000	
その他			0		0	
事務費	1,410,000	0	1,410,000	0	1,410,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	250,000		250,000		250,000	
会議ठीい費			0		0	
印刷製本費	60,000		60,000		60,000	
通信費	550,000		550,000		550,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000		40,000	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	324,000		324,000		324,000	
手数料			0		0	
地域協力費	20,000		20,000		20,000	
その他	96,000		96,000		96,000	
事業費	1,240,000	0	1,240,000	0	1,240,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	150,000		150,000	0	150,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,898,000	0	1,898,000	0	1,898,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	1,232,000	0	1,232,000	0	1,232,000	
電気料金	1,232,000		1,232,000		1,232,000	
ガス料金			0		0	自主事業収入22,000円相当分をここで調整しています
水道料金			0		0	
清掃費	60,000		60,000	0	60,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械整備費	70,000		70,000	0	70,000	
設備保全費	317,000	0	317,000	0	317,000	
空調衛生設備保守	153,000		153,000	0	153,000	
消防設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
電気設備保守	7,000		7,000	0	7,000	
害虫駆除清掃保守	22,000		22,000	0	22,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	125,000		125,000	0	125,000	
共益費			0	0	0	
その他	93,000		93,000	0	93,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	35,018,000	0	35,018,000	0	35,018,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:下瀬谷地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7268		7268	32822		32822						
	その他	8879	0	8879	11472	0	1566						
	介護予防ケアマネジメント費	8879		8879			0						
	要介護認定調査委託料収入			0	500		500						
	委託事業			0	1063		1063						
	その他の事業												
	雑収入			0			0						
	経常経費寄付金収入			0			0						
	受取利息配当金収入												
	サービス区分間繰入金収入				9906								
	その他			0	3		3						
	収入合計(A)		16147	0	16147	44294		44294					
支出	人件費			0	33610		33610						
	事務費			0	1021		1021						
	事業費			0	20		20						
	管理費			0	45		45						
	その他	16147	0	16147	4949	0	4100						
	利用者負担軽減額			0			0						
	消費税			0			0						
	介護予防プラン委託料	7182		7182			0						
	固定資産取得支出			0	100		100						
	ファイナンス・リース債務の返済支出				849								
	拠点区分間繰入金支出			0	4000		4000						
	サービス区分間繰入金支出	8965		8965			0						
その他			0			0							
支出合計(B)		16147	0	16147	39645	0	38796	0	0	0	0	0	
収支(A)-(B)		0	0	0	4649	0	5498	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえ広場	高齢者の閉じこもり予防、地域住民の交流の場などを通じて、介護予防を目的とする。アコーディオン奏者、指揮者を講師に迎え抒情歌や唱歌を歌い、休憩時間にボランティアによる喫茶を提供します。	毎月第4火曜日 13:30～15:30 H30.4～H31.3 計12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン de ミュージック	うたごえサロン第2弾！ 高齢者の閉じこもり予防、地域住民の交流の場などを通じて、介護予防を目的とする。 ピアノの演奏に合わせ叙情化や唱歌をはじめ、幅広いジャンルの歌にチャレンジする。	毎月第2木曜日 13:30～14:30 H30.4～H31.3 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	介護予防を含めた生きがい作りと団塊の世代の男性の地域デビュー、仲間作りの場の提供を目的とする。 買い物の仕方から始まり、食材の切り方など料理の基本を学び、簡単な家庭料理を自分で作れるようになることを目的とする。	H30.10.11.12月 全3回（予定） 9:30～13:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひなたやまベーカリー	横浜ひなたやま支援学校の生徒さんの学習支援として、ケアプラザ内でパン販売等の後方支援を行う。	年3回の開催を予定

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親と子のフリー 広場	親と子・同世代の子を持った親同士・子ども同士が気軽に交流できる場として開催する。 育児の悩みや情報交換が出来る場としての役割や、地域でお母さんが孤立しないような役割など、場の提供だけにとどまらず、広く子育て支援を行う。	毎月第2・4金曜日 10:00～12:00 H30.4～H31.3 計24回
ちびっこ集まれ プラレール	多目的ホールを子育て中の親子の交流の場として開放する。子ども達が大好きなプラレールの自由遊びとし、普段参加できないパパの参加を促す。	毎月第2日曜日 全12回 9:30～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でぎゅーっ と！スキンシップ	地域の子育て支援事業として、瀬谷区内の保育園と合同で開催。	H30年1月15日 10:30～11:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み企画	子ども達の夏休みの居場所づくりと宿題や課題への取り組みのお手伝いを行う。 親子の思い出作りの手助けとして開催。	夏休みに開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬休み企画 (ケアプラで書き 初め)	小学生・中学生を対象に、冬休みの宿題の書初めを書く部屋を開放。貸館団体の書道グループ等協力頂き書き方のアドバイスも行う。また宿題以外に下瀬谷ギャラリーに展示していただく字も書いて頂く。	H31年1月初旬

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まんまるクラフ ト	自立支援協議会・中屋敷地域ケアプラザとの共催事業 障害を持った方と地域の方々が協力して作業を行いながら交流をはかることを目的とする。	未定

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まちを知る企画 (タイトル未定)	地域の人と一緒に、地域の歴史や地理、地域資源など地域特性の把握に取り組むとともに、これからの地域づくりについて考える。	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新たな担い手創出企画 (タイトル未定)	これまで地域活動とは無縁の眠った人材を掘り起こし、新たな地域の担い手を育成する。	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで学ぶ認知症講座	地域の担い手（民生委員・地域サロンとシニアクラブの担い手・ケアマネジャー）を対象に認知症について理解とケアプラザ・区役所との連携について理解を深め、認知症の地域での見守り強化を図る	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護のつどいオープン講座	介護・医療に関する情報を提供することによって在宅での介護の介護の支援をしていく ①訪問マッサージについて ②看取りに ③施設見学会	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護事業	「エンディングノート書き方講座」「エンディングノートから遺言へ」の講座を連続的に開催することによって終活活動の普及を図る	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと施設協力医の交流会	事例を通しての医療知識の習慣・ケアマネジメントにおける困難ケースへの後方支援・又情報交換	毎月第3金曜日 計12回 13:00～14:00

平成30年度 自主事業収支予算書

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うたごえ広場	高齢者	180,000	地活	30,000	150,000		120,000		60,000
	60		包括						
	200		生活						
サロン de ミュージック	高齢者	95,000	地活	45,000	50,000		80,000		15,000
	40		包括						
	100		生活						
男の料理教室	高齢者	60,000	地活	48,000	12,000		30,000	30,000	
	10		包括						
	700		生活						
ひなたやま ベーカリー	障がい者	3,000	地活	3,000					3,000
	-		包括						
	-		生活						
親と子のフリー広場	未就園児&親	40,000	地活	40,000			10,000	10,000	20,000
	60		包括						
	-		生活						
ちびっこ集まれ プラレール	未就学児&親	10,000	地活	10,000					10,000
	20		包括						
	-		生活						
親子でぎゅーっと！ スキンシップ	未就学児&親	2,000	地活	2,000					2,000
	50		包括						
	-		生活						
夏休み企画	小学生	30,000	地活	20,000	10,000		10,000	20,000	
	20		包括						
	500		生活						
冬休み企画 (ケアプラで書き初め)	小中学生	10,000	地活	10,000				5,000	5,000
	20		包括						
	-		生活						
音の駅	地域の方々	30,000	地活	30,000			20,000		10,000
	-		包括						
	-		生活						
まんまるクラフト	障がい者	20,000	地活	12,000	8,000		10,000		10,000
	30		包括						
	200		生活						
ボランティア 感謝のつどい	ボランティア	30,000	地活	30,000				30,000	
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		510,000		280,000	230,000	0	280,000	95,000	135,000

平成30年度 自主事業収支予算書

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
まちを知る企画 (タイトル未定)	地域の方々	12,500	地活						
	10		包括						
	200		生活	10,500	2,000			5,000	7,500
新たな担い手創出企画 (タイトル未定)	地域の方々	32,500	地活						
	20		包括						
	500		生活	22,500	10,000		20,000	5,000	7,500
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
		45,000	地活						
			包括						
			生活	33,000	12,000	0	20,000	10,000	15,000

